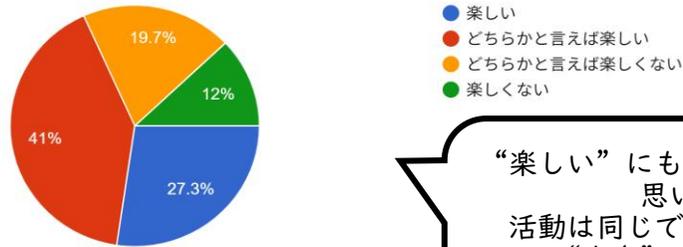


TORI タイム 2 学期 生徒アンケート結果集約！！

2学期末に行った TORI タイムに関するアンケートの協力
ありがとうございました！ 全学年のアンケート結果です！

1. TORIタイムの活動は楽しいですか？
432 件の回答



“楽しい”にも色々な種類があると思います！
活動は同じでも、相手が違えば
“中身”が変わります。
その“かかわり”に楽しさを感じる
ことができれば素敵ですね！

肯定的な意見 68.3%

1. 普段話さない人との交流 (最も多い意見)

最も目立ったのは、**「交流の範囲が広がること」**への喜びです。

- ・クラスメイトであっても普段あまり話す機会がない人、あるいは初めて話す人とコミュニケーションが取れる点が、高く評価されています。
- ・「仲良くなるきっかけになる」「関わりが少なく人と関わりを持てる」といった、関係構築の第一歩として機能しています。

2. 相手への理解と発見

会話を通じて**「相手の新しい一面を知ること」**に価値を感じている生徒が多いです。

- ・相手の趣味、好きな給食、意外な一面、自分とは違う意見や考え方を知ること、相互理解が深まっています。
- ・「質問に対して色々な答えが返ってくるのが面白い」といった、知的好奇心を満たす側面も見られます。

3. コミュニケーションそのものの楽しさ

単純に**「話すこと自体が楽しい」**という感情的な満足度が非常に高いです。

- ・「お喋りが好き」「みんなと話す元気が出る」「朝からテンションが上がる」といった、学校生活の潤いになっている様子が伺えます。
- ・また、「共感し合えるのが嬉しい」「頭の回転が早くなる」といった、心理的・教育的なメリットを感じている回答もありました。

否定的な意見 31.7%

1. 「気まずさ」と「人間関係」のハードル

最も多いのは、仲良くない相手との対話に対する心理的抵抗です。

- ・「知らない人と話すのが気まずい」「どういうテンションで話せばいいかわからない」といった戸惑いが目立ちます。
- ・相手が非協力的だったり、反応が薄かったりする場合に「気分が萎える」「気を使うのが疲れる」という意見が多く見られました。

2. コミュニケーションへの苦手意識

個人の特性として、対話そのものを負担に感じている層が一定数存在します。

- ・「人と話すのが苦手・辛い」「喋りたくない」「一人で本を読んでいるほうがいい」といった切実な声があります。
- ・「話題が続かない」「何を話せばいいかわからない」といった、スキルの面での困り感も伺えます。

3. マンネリ化と内容への不満

活動の**「形式」**に対する批判的な意見です。

- ・「毎回質問が同じで飽きる」「話題がずっと一緒でおもしろくない」といったマンネリ化が指摘されています。
- ・「質問に答えるだけ」「フリートークが続かない」など、対話の質を深めるための工夫が求められている状況です。

これらのアンケート結果を踏まえて…

学年によって、この“楽しさ”への結果はかなり異なりましたが、7割の人が楽しいと感じていることが嬉しいです。

この活動は、「短い時間、近くの人と喋っとけ」みたいな投げやりなものではなく、「正しいかかわりの力を身につけて、他者との繋がり大切さや楽しさを感じてほしい」という先生たちの願いが込められています。「合う、合わない」は放課後の話です。自分のことはもちろん、クラスメイトのことを大切にできる取中生になってください！

TORI タイムで大事にする3つのスキルを日常生活(授業)に生かせるようになるために、3学期は先生たちが「TORI トークでペアワークをしよう」などということがあります。授業の中でも“かかわりの力”をつけていこう!!